

SHIRAKOBATO

しらこぼと



1997. 5

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 157

日本野鳥の会 埼玉県支部

三郷市・江戸川の野鳥

岩瀬和志（三郷市）

野鳥の会埼玉県支部に入会してまだ2年半の会員です。96年1月から、三郷市江戸川の上葛飾橋で野鳥の観察をしています。今日は江戸川の野鳥を紹介すると共に、この1年間野鳥を観察して感じたことを書きたいと思います。

野鳥の会に入会した**当初の1年**は、双眼鏡を持って大麻生、森林公園、三室の探鳥会に参加させてもらっていました。しかし、私の住んでいる所は、埼玉県はずれの三郷市。探鳥会に行くのも面倒になり、足が遠のいた次第です。しかし、東京港野鳥公園や、葛西臨海公園には1人でよく行きました。

それでもただボーッと野鳥をみている方が好きで、たまに熱心なバードウォッチャーにフィールドノートを見せてもらっても、正直言ってピーンとこないような感じでした。

そんなある日、たまたま江戸川の三郷・松戸有料道路の上葛飾橋近くを歩いていた時に、偶然チョウゲンボウが旋回しているのを見つけたのです。自分の住んでいる所にチョウゲンボウがいた。そのことを今まで知らずにいたことに驚くと同時に、大変うれしくなりました。チョウゲンボウがいるなら、他にも野鳥はいるだろうと思い、フィールドスコープを購入し、探鳥会を1人で(?)行うことにしました。

江戸川河川敷は野球グラウンドとオギやセイタカアワダチソウなどの草原地に分かれています。上葛飾橋周辺は、セカンドフライでボールが川に落ちてしまうような狭さで、結果的に、グラウンドは造成されず、オギ、セイタカアワダチソウなどの草地状態に放置さ

れています。観察している範囲はだいたい上葛飾橋を中心にして上流は400mくらい、下流は橋から300mくらいの範囲です。去年1年間で37回観察をしましたが、確認された鳥は45種類、水辺や草原に普通に見られるような鳥でした。

96年1月の冬。まず何種類かの鳥が岸辺の草地で越冬しているのを見つけました。越冬していたのは、アオジ、ホオジロ、オオジュリン、ウグイスなどです。

自宅から歩いて10分くらいのところにこんなに鳥がいるのが信じられませんでした。でも、植物が枯れている冬のこんな季節に、この鳥達は大丈夫だろうかと心配になってしまい、やはり、なにか食べ物をやったほうがいいのかとも思いました。

しかし、そんな冬のある日、何羽かのホオジロが土手の枯れた雑草をつっついてのを見つけたのです。彼等が飛び立った後、近づくくとエノコログサでした。よく見ると、エノコログサの穂がちぎられており、その穂にも種らしき物が付いており、それを食べているらしいのです。

またオオジュリンがオギなどの茎をさかんにつついているのを見かけた事もありました。聞くところによると、中の虫を食べているのだそうです。結局、冬で食べ物が無いというのは無知な私の思いこみで、鳥達には鳥達の生き方があったということです。それなら彼らの生き方も尊重しなければならないのかとも思い、今は、近づき過ぎず、離れ過ぎずの関係で鳥を観察しています。

なお、アオジが6月に1回観察されたので、リストでは夏にも○が印され、1年中いるような印象ですが、皆さんよくご存知のように平地では越冬鳥です。当地でも7、8月は観察されていません。

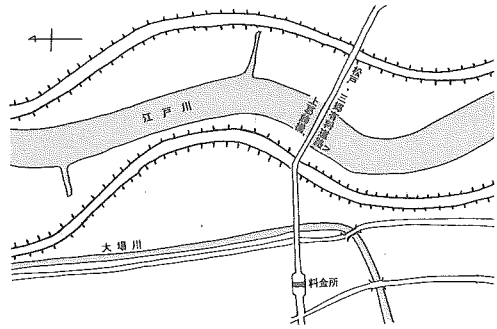


ここ上葛飾橋には、多数のカモ類が越冬しています。特にヒドリガモが多く越冬しており、また、1年中見られるカモとしては、カルガモがいます。ハシビロガモは1回しか観察されませんでした。オナガガモ、ホシハジロも、去年12月の冬からいたカモでした。その他、リストには載っていませんが、今年になってオカヨシガモも一時期いたことがありました。前年よりも今年の冬のほうが、多くの種類のカモが見られたように感じます。

春になると冬鳥も故郷に帰り、入れかわるようにオオヨシキリなどの夏鳥が来ます。まるで、マンションの住人が引っ越して、その空き家に別の住人が引っ越して来るようです。

このオオヨシキリを見ていて、カッコウが托卵しないものかと期待していました。しかし、上葛飾橋周辺では初夏カッコウの鳴き声は聞かれませんでした。オオヨシキリがいるのだからカッコウがいてくれてもいいのと思ひ、ちょっぴり残念に思ったものです。

5月下旬から6月上旬にかけての3日間、三郷市の江戸川河川敷のオオヨシキリの個体数を数えたことがありました。この時に上葛飾橋から上流を40分歩いて河川敷でカッコウの鳴き声を確認したのです。何故、上葛飾橋



ではカッコウがいなかったのか、オオヨシキリの個体数やカッコウの食べ物との関係など、興味はつきません。そのカッコウも秋の渡りの季節にだけ上葛飾橋に姿を見せてくれました。

江戸川上葛飾橋へはJR武蔵野線「三郷駅」から「金町駅」行き東武バスで八木郷橋（やぎさとばし）下車。徒歩2、3分で江戸川の土手に出られます。帰りは「三郷団地」行き「三郷駅」下車（「新和1丁目」行きは三郷駅まで行かないので注意）。

また、上葛飾橋周辺だけでなく平日の江戸川は、バードウォッチングに最適です。休日はグラウンドで草野球をやっているの、バードウォッチングには不適かも知れません。

平日はバスが面倒な方は、三郷駅から江戸川の土手を下流に歩きながらバードウォッチングを楽しんでもよいでしょう。私も江戸川をフィールドスコープを持ってウロウロしているので、かみつきませんからぜひ声をかけて下さい。

「江戸川上葛飾橋」鳥類リスト (1996年1月~12月)

種名	春夏秋冬	種名	春夏秋冬	種名	春夏秋冬
カイツブリ	○	バン	○ ○	モズ	○ ○
カワウ	○ ○ ○ ○	オオバン	○	ツグミ	○ ○ ○
ゴイサギ	○ ○	コチドリ	○	ウグイス	○ ○
ササゴイ	○	シギSP	○	オオヨシキリ	○ ○ ○
ダイサギ	○ ○	ユリカモメ	○ ○ ○	セッカ	○ ○
チュウサギ	○	セグロカモメ	○ ○ ○	ホオジロ	○ ○ ○
コサギ	○	ウミネコ	○ ○	アオジ	○ ○ ○ ○
アオサギ	○ ○	コアジサシ	○	オオジュリン	○ ○
マガモ	○ ○	キジバト	○ ○ ○ ○	カワラヒワ	○ ○ ○ ○
カルガモ	○ ○ ○ ○	カッコウ	○	ベニマシコ	○
コガモ	○ ○	コゲラ	○	スズメ	○ ○ ○ ○
ヒドリガモ	○ ○ ○	ヒバリ	○ ○ ○	ムクドリ	○ ○ ○ ○
オナガガモ	○	ツバメ	○ ○ ○	ハシボソガラス	○ ○ ○ ○
ハシビロガモ	○	ハクセキレイ	○ ○ ○ ○	ハシブトガラス	○ ○ ○ ○
チョウゲンボウ	○ ○ ○	ヒヨドリ	○ ○ ○		

春—3、4、5月 夏—6、7、8月
 秋—9、10、11月 冬—12、1、2月 合計 45種類

1996 夏

「鳥の目から環境を調べよう！」調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

1996年の夏の調査は、125件の回答をいただき、調査にご協力いただいた会員各位の自宅から半径50m以内で、73種が記録されました(表1, 表2)。

7通りの環境別に上位5種をリストアップし、表3にまとめました。

環境別上位5種は、ほぼ予想通りの種が多く見えますが、カワラヒワが高層住宅地区と工業地区で1位を占めたのが興味深く感じられます。ハクセキレイが工業地区の4位に入っているのは、近年の分布と営巣場所の変化を示しています。

カッコウとホトトギスは、声がよく通るために数多く記録されたと思われます。その

他、人間の住環境との関連が大きいのと思えない種も多く記録されているのは、このような鳥がいる環境と人の住まいの距離が近づいているからと考えています。

1997年夏も、観察期間を5月10日から7月10日とし、自宅から半径50m以内で観察された鳥を、7月号に同封する調査はがきで回答する調査を継続します。

今回の調査結果のカササギも「かご抜け」と考えられますが、環境と鳥の関係を見る調査ですので、ドバト・ワカケホンセイインコ・セキセイインコなど、他のかご抜けの鳥もご記入ください。(小荷田行男)

表1 調査概要

調査期間	1996年5月10日～7月10日			
調査参加者	支部会員125名			
調査区域	会員各位の自宅から半径50m以内			
	餌台	水場	巣箱	回答件数
高層住宅地区				12
1～2階建て住宅地区	33	24	9	83
商業地区				6
工業地区	1	1		3
農業地区(主に畑)	4	4	3	12
農業地区(主に水田)	2	3	1	8
林業地区				1
計	40	32	13	125

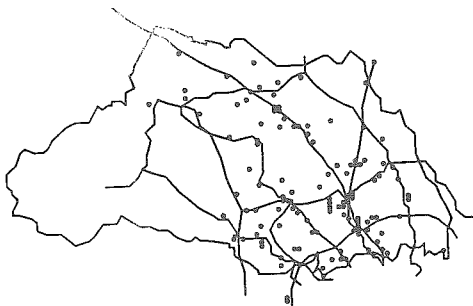
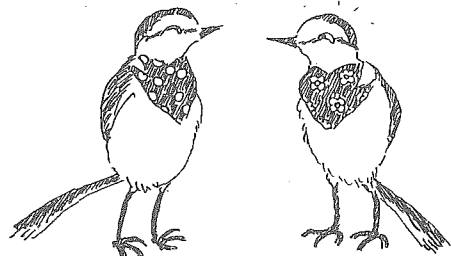


図 調査地点の分布



新柄よ!(押川歳子)

表2 調査結果一覧

種	高層住宅地区	1~2階建て住宅地区	商業地区	工業地区	農業地区(主に畑)	農業地区(主に水田)	林業地区	すべての環境	種	高層住宅地区	1~2階建て住宅地区	商業地区	工業地区	農業地区(主に畑)	農業地区(主に水田)	林業地区	すべての環境
スズメ	11	67	6	3	6	5		98	カワセミ		3						3
ツバメ	9	66	4	1	8	7		95	ドバト	1		2					2
ヒヨドリ	11	66	5	3	6	3		94	チュウサギ					1	1		3
ムクドリ	10	61	5	2	6	6		90	アオサギ		1				1		2
オナガ	9	59	5	2	6	4		85	ツミ	1	1						2
キジバト	9	58	5	1	3	6		82	サンバ					1		1	2
シジュウカラ	10	49	3	1	6	2		71	チヨウゲンボウ	1	1						2
カワラヒワ	12	40	3	3	6	5		69	ヨタカ		1					1	2
カッコウ	9	45	1		8	5		68	アマツバメ		1			1			2
ハシトガラス	7	36	5	2	5	4		59	イワツバメ		1			1			2
ハシボソガラス	5	34	5	1	3	6		54	キセキレイ					1		1	2
ハクセキレイ	3	26	4	2	2	7		44	センダイムシクイ		1			1			2
コゲラ	6	24	1		4	1	1	37	キビタキ		1			1			2
ゴイサギ	3	17	2		4	3		29	カイツブリ						1		1
コサギ	1	13	1		4	5		24	ササゴイ	1							1
ホトトギス	2	13			7	1	1	24	コガモ			1					1
セグロセキレイ		13			4	3	1	21	オオタカ							1	1
コジュケイ	2	10			5	2		19	バン						1		1
ウグイス	2	12			4	1		19	イカルチドリ		1						1
カルガモ	1	8	2		4	2		17	ムナグロ		1						1
ヒバリ	1	5			4	4		14	ジュウイチ		1						1
オオヨシキリ		5			4	4		13	ヤマセミ					1			1
シラコバト		7	1		2	2		12	アカゲラ							1	1
メジロ	2	8			1		1	12	サンショウクイ							1	1
カワウ	4	4			1	2		11	コマドリ					1			1
アオゲラ	1	7			1		1	10	コルリ		1						1
セッカ	1	3			3	3		10	トラツグミ							1	1
モズ		6			3			9	クロツグミ							1	1
キジ		4			4			8	ヤブサメ		1						1
アオバスク	1	2	1		3		1	8	コヨシキリ		1						1
ホオジロ	1	2	1		3			7	メボソムシクイ		1						1
ダイサギ	1	1			1	1		4	クイタダキ		1						1
コチドリ		4						4	オオルリ		1						1
ツグミ		3	1					4	エナガ					1			1
イカル	1	2			1			4	ヤマガラ		1						1
アマサギ					1	2		3	カササギ						1		1
フクロウ		1			1		1	3	合計	138	804	63	21	144	101	15	1,288

表3 埼玉県における環境別上位5種(夏鳥)

環 境	1位	2位	3位	4位	5位
高層住宅地区	カワラヒワ	ヒヨドリ	スズメ	シジュウカラ	ムクドリ
1~2階建て住宅地区	スズメ	ヒヨドリ	ツバメ	ムクドリ	オナガ
商業地区	スズメ	キジバト	ヒヨドリ	ムクドリ	オナガ
工業地区	ヒヨドリ	スズメ	カワラヒワ	ムクドリ	オナガ
農業地区(主に畑)	カッコウ	ツバメ	ホトトギス	ヒヨドリ	シジュウカラ
農業地区(主に水田)	ツバメ	ハクセキレイ	キジバト	ムクドリ	ハシボソガラス

出会いの楽しさ

陶山和良（浦和市）

この冬のこと。「秋ヶ瀬でトラツグミが越冬中です。子どもの森で座ってポーッとしていると、出てくれることがあります。探している、出てきません」。Eさんから頂いたユーモラスな情報。心ゆさぶられた私は、早速一人で出かけ、探すこと約2時間……探していると、出てきません。

ピクニックの森へ移動。ウィークデーで人数は少ない。最初に出会った方に「トラツグミは出ていませんか」「さっきテニスコートの近くで見ましたよ」。心は弾むが、探していると、出てきません。

代役に、カワセミが目の前でホバリングから小魚キャッチの大サービスをしてくれるが、今日のこちらには筋違い。

あきらめ心で、最後にと、向こうから来た毛糸の帽子を被った方に「トラツグミはご覧になりましたか」「私も探しているところです」と話をしている間も、目はキョロキョロと周囲が気になる。

「アッ」「ただのツグミでは」「いや、飛び方がどうも」……いました。葉陰の枝に止まっている、まさしくトラちゃんだ。半逆光だが、美しい黒の網目模様が、薄黄土色の上に鮮やかだ。

「良かった」「良かったネ」。目的達成に満足し、ではまたどこかでお会いしましょうと、帽子をとって、「私のシンボルマークです。お忘れなく」。光り輝く頭を指してご挨拶を頂く。

バードウォッチングでの人との出会いの楽しさは、また格別だ。わずらわしい職場での上下関係や、地域での利害関係もなく、自由にお互いに声をかけあい、情報交換をするう



(押川歳子)

ちに、心の温かさ、熱心さ、几帳面さ、好奇心の旺盛さ等々、相通じるものを感じたり、人柄の良さを感じたりする時、ふとうれしくなり、また、私の心の財産がプラスになったと喜ぶ私でもあります。



(浦和市大久保農耕地風景)

町田好一郎さんのビデオ、受賞

当支部幹事の町田好一郎さん（本庄市）のビデオ作品が認められ、このたび「NHK映像ニュース賞」を受賞しました。作品の内容は、世界でも珍しいシジュウカラの「蟻浴び」の記録。昨年5月に新潟県の妙高高原で撮影されたものです。授賞式は3月8日にNHK放送センターで行われ、その模様は同日、ニュースとして放送されました。町田さんは、ビデオカメラとスコープを連結して高倍率の画像を得る方法を考案し、全国に広めた元祖です。町田さん、おめでとう。益々のご活躍を！

下の写真で、工事現場の監督さん風にかまえているのが町田さんです。どうぞ、お見知りおきを。



オカヨシガモ ◇2月8日、三郷市の江戸川上葛飾橋付近でも2羽(岩瀬和志)。

ノスリ ◇2月17日、三郷市の江戸川JR武蔵野線鉄橋と中川排水機場の間で1羽(岩瀬和志)。

タゲリ ◇2月、三郷市の江戸川中川排水機場付近の河川敷野球グラウンドで11羽(岩瀬和志)。

アリスイ ◇2月15日、坂戸市浅羽野地区高麗川河川敷で1羽。初めて見る鳥でした(増尾隆・節子)。

キレンジャク ◇1月25日、入間市小谷田の近所の電線に23羽。真下にあるピラカンサをヒヨドリと奪い合っていた。翌日も現れたが、間もなくピラカンサの実はなくなりキレンジャクも姿を消した(工藤雅彦)。

◇3月1日、庄和町で11羽。2日にも11羽(篠原、平野他21名)。◇3月2日、日高市の鹿台橋近くのケヤキの大木でヒレンジャクと混群、約60羽(本多滋和・幸枝)。

ミソサザイ ◇2月21日、吉見町の八丁湖で1羽。湖畔の植えこみの間から、ひょっこり遊歩道に出てきた(中村豊己)。◇2月23日、日高市巾着田で1羽。地鳴き(本多滋和・幸枝)。

ルリビタキ ◇2月4日、吉見町の八丁湖で♂1羽♀2羽。8日にも同地で♂2羽♀1羽(中村豊己)。

トラツグミ ◇2月14日、吉見町の八丁湖で1羽(中村豊己)。

シロハラ ◇2月16日、大宮市南中野で♀1



羽(袁輪真澄)。

ウグイス(初鳴き) ◇2月11日午前8時頃浦和市神明で「ホーホケキョ」とはっきりとした鳴き声を今年初めて聞きました。住宅街をしばらく鳴き渡っていきました(上野明子)。

ミヤマホオジロ ◇2月16日、深谷市の仙元山で♂♀各3羽。探鳥会中止で皆で見られず残念(新井巖)。

マヒワ ◇2月4日、吉見町の八丁湖で♂1羽♀2羽。杉の実をしきりにつついていた(中村豊己)。

ベニマシコ ◇2月14日、吉見町の八丁湖で♂1羽。駐車場下のアシ原でカワラヒワに混じって、茎につかまっていた(中村豊己)。

ウソ ◇2月6日、坂戸市西坂戸の城山荘前の桜並木で♂7羽♀2羽。そのうちアカウソ5羽(増尾節子)。◇2月14日、吉見町の八丁湖で♂2羽♀8羽。17日にも同地で十数羽が遊歩道の桜の木に群がり、あたまの上で口笛をたっぶり聞かせてくれた(中村豊己)。

表紙の写真

カンムリチメドリ (ヒタキ科チメドリ亜科)

チメドリ亜科は世界で256種いるが、日本にはいない。台湾には16種いて、そのうち、シマドリ・キンバネホイパイ・ミミジロチメドリ・ヤブドリと、このカンムリチメドリの5種が特産固有種。

全長12cm。小さくて敏捷なカンムリチメドリは、ちょうとメジロのように、数羽の群れ

で小さく鳴き交わしながら、桜の花の蜜を次々と吸っていた。

本年3月25日、台湾溪頭で撮影。

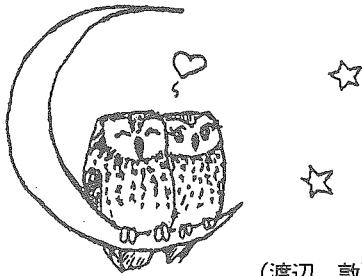
台湾名: 冠羽畫眉

英名: Taiwan Yuhina

学名: *Yuhina brunneiceps*

海老原美夫(浦和市)

行事あんない



(渡辺 敦)

◆5月5日 千葉県習志野市谷津干潟探鳥会
は4月号を御覧下さい。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：5月10日(土)

集合：午前8時45分 JR宇都宮線蓮田駅東口
バス停前

担当：中島(康)、吉安、中村(栄)、玉井、吉田

見どころ：若葉の緑が目にしみる季節になりました。今は田植えのさかり、畔道を歩きながら、タカブシギ・キアシシギ・チュウシャクシギ・ムナグロ等を探します。

長野県・白馬山麓探鳥会(要予約)

期日：5月10日(土)～11日(日)

定員に達しましたので締切りました。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：5月11日(日)

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03
発に乗車

担当：和田、森本、小池、榎本、岡安、町田、
中島(章)、石井(博)、倉崎、松本

見どころ：今日はバードソンの日。我等の「リブラン・フレッシュしらこぼと」のメンバーとお昼ごろ合流の予定です。皆で応援しましょう。ヒバリやカッコウのさわやかな声も聞かえます。

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

栃木県・奥日光探鳥会

期日：5月15日(木)

集合：午前9時15分 東武日光駅前、集合後
9:26発バスにて現地へ

交通：東武伊勢崎線春日部7:42発(快速)日光行に乗車。乗車券は「日光フリーパス」が便利でお得です。

解散：午後3時半頃、赤沼付近にて

担当：櫻庭、松井、中村(栄)、兼元、堀
見どころ：奥日光は今が木々の芽生えの時季。湯の湖、戦場ヶ原を経て赤沼まで約6km、夏鳥を求めて歩きます。雪解け道もありますので足揃えはしっかりと。

東京都・三宅島探鳥会(要予約)

期日：5月16日(金)～18日(日)

定員に達しましたので締切りました。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：5月18日(日)

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、手塚、伊藤、渡辺(周)、
笠原、倉林、若林、岡部、兼元、森

見どころ：斜面林の若葉が5月の三室の空に映えます。昨年は定番のキアシシギは出現しなかったけど、南の国からサシバ・カッコウ・オオヨシキリ・セッカたちが楽しませてくれました。

長野県・戸隠宿原探鳥会 (袋予約)

期日：5月24日(土)～25日(日)
定員に達しましたので締切りました。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：5月25日(日)
集合：午前9時 西武新宿線狭山市駅西口
交通：西武新宿線本川越8:42発、所沢8:36発に
乗車。(ダイヤが変わりました)
担当：長谷部、高草木、藤掛、石井(幸)、
小野、中村(祐)、山本、久保田
見どころ：冬から春の間地味な生活をしてい
た鳥達も、この季節ばかりはその存在
を大いにアピール。囀る鳥達を探しな
がら、同時に新緑も楽しみましょう。

本庄市・坂東大橋探鳥会

期日：5月25日(日)
集合：午前9時 JR高崎線本庄駅北口、集合
後9:05発十王バス新伊勢崎行に乗車、
坂東大橋南詰下車。現地に集合も可。
担当：町田、小池、林(滋)、中島(章)、倉
崎、堀
見どころ：連休の騒がしさも去り、静けさが
戻った河原を散策します。カワセミ・
シギ・チドリ・アマツバメ、そして毎
年繁殖のためにはるばる訪れるツバメ
チドリにも会いたいですね！

『しらこぼと』袋づめの会

とき：5月31日(土)午後1時～2時ごろ
会場：支部事務局108号室

栃木県・奥日光探鳥会

期日：5月31日(土)
集合：午前9時20分 東武日光駅前の湯元行
バス停前、集合後バスで現地へ
交通：東武伊勢崎線春日部7:42発(快速)日
光行に乗車。乗車券は「日光フリーパ
ス」が便利でお得です。
解散：午後3時半ごろ、湯の湖付近にて
担当：中島(康)、櫻庭、福井
見どころ：春の訪れが遅く芽吹いて間もない
若葉が陽光に輝く。この季節ならではの

の匂の戦場ヶ原を歩きノビタキ・キビ
タキ・コマドリ等の夏鳥を探します。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：6月1日(日)
集合：午前8時30分 北本自然観察公園駐車
場、または午前8時15分JR高崎線北本
駅改札口。集合後タクシーで現地へ、
リーダーの指示で分乗してください。
担当：岡安、内藤、榎本、立岩、永野(安)、
永野(京)、川那部、島田、大阪、高
見どころ：高尾の池ではカルガモ・バン・カ
イツブリの愛くるしい親子づれを観察
します。夏鳥のカッコウ・ヨシゴイも
来て、大いに賑わう石戸宿です。

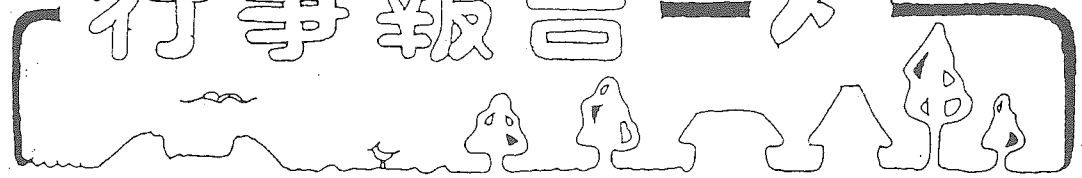
大滝村・三峰神社探鳥会

期日：6月1日(日)
集合：午前10時 三峰ロープウェイ山頂駅前
交通：秩父鉄道熊谷7:16→寄居7:50→お花畑
8:30→三峰口下車、バスにてロープウ
ェイ入口(大輪)下車、ロープウェイ
9:50発にて山頂駅へ。
解散：午後1時頃、ビジターセンター周辺
担当：田口、小池、青山、林(滋)、関口
見どころ：夏鳥本番！ 美声のオオルリ・キ
ビタキ・コルリを楽しみに。この季節
の山の天気は変わりやすいので、雨具
の用意と足擦えは十分に。

浦和市・民家園周辺定例探鳥会

<差間コース>
期日：6月1日(日)
集合：午前9時 浦和市くらしの博物館
民家園駐車場、念仏橋バス停前
交通：JR浦和駅西口バス1番乗場、大崎園芸
植物園行き8:36発に乗車、念仏橋下車
担当：手塚、伊藤、工藤、新堂、笠原、吉
岡、若林、倉林
見どころ：一面の緑の中オオヨシキリ・ホオ
ジロ・セッカたちの合唱が初夏の風に
乗って渡ります。これにホトトギス・
カッコウが加われば、もう最高！

行事報告



1月26日(日) 長瀬町 長瀬

参加: 54人 天気: 晴

カイツブリ カワウ マガモ カルガモ コガモ
オナガガモ トビ オオタカ チョウゲンボウ
イカルチドリ キジバト カワセミ アカゲラ
コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキ
レイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ
ツグミ エナガ シジュウカラ メジロ ホオジ
ロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ ス
ズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラ
ス(34種) しばらくヤマセミを見ていない。オシ
ドリも数が減ってきているように思う。今年は見
られなかった。今年は「アタリ年」なんていう話
をよく聞くのにどうしたのかな? 次回、宝登山バ
ードハイクはアテテやるゾ! (小池一男)

2月2日(日) 長野県 軽井沢

参加: 61人 天気: 晴

アオサギ トビ キジ キジバト カワセミ ア
オゲラ アカゲラ コゲラ ヒヨドリ ヒレンジ
ャク カワガラス ミソサザイ カヤクグリ ル
リビタキ シロハラ ツグミ キクイタダキ エ
ナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ
ゴジュウカラ ホオジロ カシラダカ アトリ
カワラヒワ マヒワ ハギマシコ オオマシコ
ベニマシコ ウソ イカル シメ スズメ ムク
ドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス
(39種) 多少積雪はあったが、まずまずの好天気。
憧れの赤い鳥との出会いを期待して大勢の方々が
軽井沢を訪れましたが、大満足の探鳥会でした。
リクエストに応え、来年からは「軽井沢一泊探鳥
会」にしましょうね。 (町田好一郎)

2月2日(日) 浦和市 民家園周辺

参加: 64人 天気: 曇

カワウ コサギ コガモ タゲリ ヤマシギ ユ
リカモメ セグロカモメ キジバト コミミズク
ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキ
レイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ

ツグミ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハ
シブトガラス(27種) 差間コース。午後3時スタ
ート。里の冬鳥を一通り見て植木畑を歩いている
と、やぶの中からヤマシギが飛び立つ。午後4時。
お目当てのコミミズクがカラスを従えて登場。杭
に止まり、あたりをうかがう姿に全員が大喜び。
参加者の期待に応えられた。 (手塚正義)

2月8日(土) 大宮市 大宮市民の森

参加: 23人 天気: 曇

カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ
コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ
キンクロハジロ クイナ バン タシギ セグロ
カモメ キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキ
レイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビ
タキ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカ
ラ メジロ ホオジロ アオジ オオジュリン
カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ
ハシボソガラス ハシブトガラス(37種) 開始直
後に白いものがちらついてきて心配したが、天候
も徐々に回復した。新しい橋が出来、交通量も増
した環境ではあったが、春一番の揚げヒバ리를皆
で見上げ、芝川ではクイナ・オオジュリンをじっ
くり観察できた。油汚染(OBIC)の募金をお
願いして探鳥会を終了した。 (工藤洋三)

2月9日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 62人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ コサギ コハクチョウ マ
ガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロ
ガモ ホシハジロ トビ ノスリ チョウゲンボ
ウ キジ バン イカルチドリ イソシギ キジ
バト カワセミ アオゲラ アカゲラ コゲラ
ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキ
レイ ビンズイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジ
ョウビタキ ツグミ エナガ シジュウカラ メ
ジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒ
ワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス

ハシブトガラス(44種)探鳥会初参加の人も多く、Mリーダーの説明も熱が入ったようで、長一列になったが、明戸堰には時間通りに集結。コハクチョウ、カモ類も十分観察できた。出現鳥44は大麻生でのこれまで最高に並ぶのでは?との声もあった。(和田康男)

2月9日(日) 富士見市 柳瀬川

参加:52人 天気:晴

カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ
コガモ ヒドリガモ オナガガモ キジ イカル
チドリ タゲリ イソシギ タシギ ユリカモメ
セグロカモメ キジバト ヒバリ キセキレイ
ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨ
ドリ モズ ツグミ シジュウカラ ホオジロ
アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズ
メ ムクドリ ハシボソガラス(33種)川をひと
回りするように朝日を背に土手を歩いた。唯一目
当てのタゲリが、期待どおり光を浴びて出迎えて
くれた。カモが泳ぐ上空をカワウの編隊が飛んで
行く光景が見事であった。(高草木泰行)

2月11日(火、休) 上尾市 丸山公園

参加:26人 天気:曇後晴

カイツブリ カワウ ダイサギ カルガモ タカ
sp チョウゲンボウ コジュケイ キジ タゲリ
キジバト トラフズク カワセミ アカゲラ コ
ゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグ
ロセキレイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョ
ウビタキ ツグミ ウグイス ヒガラ ヤマガラ
シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ
アオジ クロジ アトリ カワラヒワ イカル
シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシ
ボソガラス ハシブトガラス(42種)アカゲラの
道案内で大成功の探鳥会だった。東屋近くでヒガ
ラの群れ。アシ原ではアトリとイカルの群れ。荒
川の河原では杭に止まったチョウゲンボウ。すべ
て全員がじっくり見られた。(岡安征也)

2月11日(火、休) 所沢市 狭山湖

参加:34人 天気:曇後晴

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ アオ
サギ マガモ カルガモ コガモ キンクロハジ
ロ ホオジロガモ トビ オオタカ ノスリ ハ
ヤブサ キジバト アカゲラ コゲラ ヒバリ
ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨ

ドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ シロハ
ラ ツグミ ウグイス エナガ コガラ ヒガラ
ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ ア
オジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カ
ケス ハシブトガラス(41種)コガモの♀1羽を
数羽の♂が取り囲んでの求愛行動は、女性に人気
の見もの。カラ類の混群も少しずつまばらになっ
て、鳥の世界は春の準備で忙しそう。(杉本秀樹)

2月13日(木) 本庄市 坂東大橋

参加:28人 天気:晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ
ギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカ
ヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ カワアイサ
トビ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ キジ
タゲリ ハマシギ イソシギ セグロカモメ キ
ジバト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ セグ
ロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ
メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジ
ュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ
ハシボソガラス ハシブトガラス(42種)初めて
の県北平日探鳥会に28人もの参加を得たが、県南
の会員が多かった様子。河原ではトビ、ノスリ、
チョウゲンボウの猛禽類。川にはヨシガモ等のカ
モ類。空にはタゲリの群れ。そして最後にオオタ
カの若鳥がキジバトを襲うのを観察。終わってみ
れば42種の大満足の探鳥会だった。(櫻庭 勇)

2月15日(土) 群馬県 裏妙義

参加:42人 天気:晴

オシドリ マガモ カルガモ オナガガモ トビ
オオタカ ノスリ イヌワシ キジバト カワセ
ミ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ
ヒヨドリ モズ カワガラス カヤクグリ ルリ
ビタキ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナ
ガ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ
ホオジロ カシラダカ ミヤマホオジロ アオジ
アトリ カワラヒワ マヒワ スズメ ムクドリ
カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(38種)
好天とイヌワシに誘われて42人の参加。これで目
玉のイヌワシ君が姿を現わしてくれなかったら、
あの梵天岩から思い切って飛ばなければとまで思
い詰っていた。最後の最後にやっこのことでその
勇姿を現わし、国民宿舎裏山にそびえる大岩に止
まって、まさにゴールデンに輝く後頭部をよく見
せてくれた。発見者に表彰状。(松井昭吾)

連絡帳

●バードソンの募金はお済みですか

5月11日(日)のバードソンが目前に迫りました。チームメンバーは、各地のサポーターと綿密に打ち合わせ、一種でも多くと張り切っておりますが、皆様は募金はお済みですか。うっかり忘れていらっしゃる方はいらっしゃいませんか。

前日の5月10日(土)が一応の締切日。10日の消印、または10日中にバードソン事務局に届いたFAXは有効です。

それ以降の募金申し込みはピタリ賞の対象にはなりません、それでも良いというご厚志は、バードソン当日の大麻生の探鳥会や、最終地点の三室などでも受け付けます。

ご支援をお願いします。(チーム一同)

●会員らの活躍

3月29日(土)、小畔川周辺で日高市環境保全課主催のバードウォッチングの会が開催され、吉田時規会員が案内人をつとめ、石井幸夫・陶山和良・山崎芳治会員らが支援しました。毎月開催されている定例自然観察会の一環として開かれたもので、32名が参加、カワセミなど32種が観察されました。

●鳥獣保護員留任

県自然保護課に所属して全県対象に鳥獣保護思想普及啓蒙などの職務を行っている鳥獣保護員を、当支部推薦としては福井恒人幹事が長年つとめていますが、平成9年度も引き続き推薦、留任することになりました。

●イベントに協力準備中

かつて野鳥写真展などの会場を度々ご提供いただいた熊谷駅ビルのアズ熊谷が、開業10周年を記念して、5月3日(土)ファミリーウォークを計画しています。荒川公園、野鳥の森からアズ熊谷までのコースで、600名ほどの人たちに自然と親しんでもらおうというものです。

支部としても、バードウォッチング教室や野鳥写真展などで協力しつつ、会の普及活動も行おうと、現在準備中です。

●ご寄付ありがとうございました

あさひカード探鳥会のリーダーたち65,000円、大武昭雄8,000円、川口由美子1,500円、小林みどり30,000円、渋谷正郎5,000円、長野孝子1,000円、新田美代子3,000円、森本國夫8,000円、役員リーダー懇親旅行参加者たち3,935円。(敬称略・50音順)

●5月の事務局 土曜と日曜の予定

10日(土) 役員会議(仮日程)。
17日(土) 編集会議、研究部会議。
24日(土) 校正作業。
31日(土) 袋づめの会。

●会員数は

4月1日現在2,833人です。

活動報告

3月1日(土)～2日(日) いわき方面で役員リーダー懇親旅行。
3月19日(水) 県中央環境管理事務所主催の鳥獣保護連絡会議に出席(福井恒人)。
3月22日(土) 4月号校正(海老原美夫、喜多峻次、櫻庭勇、工藤洋三)。
3月22日(土) 役員会議(司会:岡安征也、各部の報告・アズファミリーウォークへの対応・探鳥会指導依頼対応・その他)。
3月31日(月) 「普及部だより」を全役員リーダーに発送(海老原教子、楠見文子)。

編集後記

1週間ほど手術入院してきました。オベは短時間で終わり、痛みも我慢できる範囲内でした。原稿整理のためにワープロの前に座るのも楽になりました。

人間生活の基本は、快適に座ることにあると思う今日この頃です。(藤)

『しらこぼと』1997年5月号(第157号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)